

作曲家松村禎三とピアニスト野島稔 : ~2つのピアノ協奏曲を巡って~

| | |
|--------|---|
| 著者 | 高橋 裕 |
| 雑誌名 | ライブラリーレポート |
| 号 | 5 |
| ページ | 3-4 |
| 発行年 | 2017 |
| 出版者 | 東京音楽大学附属図書館 |
| ISSN | 2188-4706 |
| 著者版フラグ | publisher |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1300/00001256/ |

作曲家 松村禎三 と ピアニスト 野島稔

～2つのピアノ協奏曲を巡って～

作曲家、アプサラス³ 会長

高橋 裕

作曲家松村禎三¹とピアニスト野島稔²という傑出した二人の作品と演奏に関する話は、我々作曲家にとって、喉から手が出るほど欲していたものであった。

しかも世界に驚嘆の念をもって迎えられた、松村禎三のピアノ協奏曲である。加えて松村禎三の家に家族同然のように泊まり込み、麻雀に明け暮れていた野島稔東京音楽大学学長のインタビューである。当日は想像を越えた話しの数々に思わず引き込まれ、レッスンの学生を長く待たせてしまうことになってしまった。特に、作曲に工夫が凝らされた繋ぎの部分の演奏についてや、ペダルについての話。続けざまに作曲された第1番と第2番のコンチェルトの違いに関する話は、殊の外興味深いものであった。至宝のような自筆譜の載ったこのインタビューを、志ある作曲家やピアニスト等々、多くの方々にじっくり味わっていただきたいものである。この稀有なインタビューの刊行にご尽力いただきました多くの方々に、ただただ感謝申し上げる次第である。

¹ 松村禎三(まつむら ていぞう 1929年1月15日-2007年8月6日) 京都府生まれの作曲家、俳人。東京藝術大学名誉教授。《交響曲第1番》(1965年)、《管弦楽のための前奏曲》(1968年)、オペラ《沈黙》(1993年)など。現代音楽のみならず、映画・舞台音楽も多数手がけた。

² 野島稔(のじま みのる 1945年5月23日-) 神奈川県横須賀市出身のピアニスト。1963年第32回日本音楽コンクール第1位大賞受賞。2014年、日本芸術院賞を受賞。2011年より東京音楽大学学長。

³ アプサラスとは、日本を代表する作曲家松村禎三の業績を讃え、作品を世に広めるとともにその遺志を継ぎ、新たな創作・演奏活動を通して音楽芸術の新境地を拓くべく、志を同じくする者により2008年に設立された会。会名の「アプサラス」は、松村のフルート、ヴァイオリン、ピアノのための作品《アプサラスの庭》(1971年/1975年改訂)から命名された。